


# 美唄市財政健全化計画等説明会


## 1 期間・回数

平成 20 年 11 月 11 日（火）～18 日（火） 7 日間 14 会場

## 2 参加者数・主な意見等

月 日	会 場	参加者数	主な質問等
11 月 11 日（火）	<p>日東福祉会館</p> 	10 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院の病床を削減しても赤字解消につながらないのでは→国の基準もあり、休止している病床を削減し、利用率を上げるほか、他の見直しも含め経営の改善を図る。</li> <li>・医師確保の状況は→大学病院も医師不足で厳しい状況であるが、内科医師を 1 人確保し、内科の入院ができるよう努力していきたい。</li> <li>・美唄市は自立を選択したが、現在、合併などの考えはないか→過去に自立を選択し、合併については市民の意見を聞いて判断していきたい。</li> <li>・市立病院は赤字が増えている状況であり、診療所も検討しては→交通手段のない高齢者の方や透析の方、小児科にかかる子どもがいるのでスリム化して存続していきたい。</li> <li>・救急で市外に搬送している割合はどのくらいか→現体制になってから 10 月末まで 37%を市外に搬送しており、前年より 10%程度多くなっている。</li> <li>・市職員の年齢構成のバランスが悪いのではないかと厳しい財政状況を踏まえ、職員を削減しており、これにより新規採用を控えてきた結果、バランスが悪い状況になっている。</li> <li>・臨時、嘱託職員の人数、経費は→一般会計の職員費で、臨時職員は 44 人、嘱託職員は 55 人おり、年間 1 億 4 千万円ほどの経費。</li> <li>・「食の駅」はどうなっているのか→現在は、既存施設を活用し美唄市の負担にならないような仕組みで構想をつくっているところ。</li> <li>・救急医療に対応している医師の報酬と、当直の医師の状況は→近隣を参考に、日額 7～10 万円の報酬。当直は、主に平日は市内の医師、祝祭日は札幌の医師が担当。</li> </ul>
	<p>茶志内中央福祉会館</p> 	24 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学資金廃止など子どもに関するものは職員の手当てなどで見直しできないか→貴重な意見として検討していきたい。</li> <li>・このような状況になったのは国の責任ではないか→地方交付税が大幅に削減されたのが大きな原因であり、同じような自治体と連携し国に対し意見を述べていく。</li> <li>・職員給料の 15%削減は、意欲の低下につながるか→職員にとっては厳しい状況ではあるが、これをやらないと病院の特例債が借り入れできない状況である。</li> <li>・健全化計画期間の延長はできないか→病院の不良債務の解消は 5 年間で 8 年間に延ばしてもらっている。</li> <li>・福祉タクシーなどの福祉的な部分は見直せないか→ご意見を参考にして検討する。</li> <li>・国営事業の市の負担率を明確すべきでは→農業者とお話をしながら近々負担率を明確にしていきたい。</li> <li>・税の滞納はいくらあるのか→19 年度末で 8 億 4 千万円ほど。</li> <li>・滞納の取組み状況は→職員体制の改善や、新たにタイヤロックを購入したので収納率の向上を図る。</li> <li>・自衛隊協会記念事業の廃止はどうか→協力会の支援をやめるのではなく、一部の記念事業への補助を取りやめるもの。</li> <li>・奨学資金など弱者に対する値上げが多いのでは→奨学金は社協にも同じ様な制度があるので、今回見直した。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力すべきものは、協力したいが、今回の問題は国に責任があり、市は国にどのような要望をしているか→地方交付税の増額と病院に対する支援を他の自治体とともに要望している。</li> <li>・三井美唄幼稚園の統合の考え方は→地元保育所との統合</li> </ul>

<p>11月12日(水)</p>	<p>南美唄福祉会館</p> 	<p>25人</p>	<p>などを保護者と検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟の動きに対して看護師の配置など、対応が遅いのは→できるだけ早く対応し経営の改善に努める。</li> <li>・病院特例債は8億円以上借りられるのか。返済期間は延ばせられるのか→H15年度末からの赤字部分の約8億4千万円が借りられる金額で、不良債務の解消は5年ですとところを8年に延長してもらうこととしている。</li> <li>・職員削減で住民サービスの低下にならないか→住民サービスの低下にならないよう対応していきたい。</li> <li>・市立病院を安心して赤字にならない運営に→医師の確保を含め、救急体制を維持しながら運営するよう努力する。</li> </ul>
<p>11月13日(木)</p>	<p>落合生活館</p> 	<p>11人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員給料の削減はあるが市議会議員の削減は→現在、市議会で検討中と聞いている。</li> <li>・くみ取り料金を値上げするようだが、市内全体で何世帯あるのか→平成19年度で5,770世帯、対象人数9,820人、くみ取り量7,963Kℓ。</li> <li>・市立病院の現状の診療科と医師の状況は→内科、小児科など全7科、常勤の医師8人体制で診療している。</li> <li>・透析は利益につながるのか→市立病院は透析患者の受入れが、まだ可能なので収益が見込める。</li> <li>・前日の説明会で病院の診療所化の意見がでていたようだが→市立病院は、交通手段のない高齢者の方や透析の方、小児科にかかる子どもがいるので、スリム化して存続していきたい。</li> </ul>
<p>11月13日(木)</p>	<p>開発福祉会館</p> 	<p>10人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19の市立病院の赤字額は→H19年で3億2千万程度、累積で23億4千万円程度。</li> <li>・3年で黒字になるのか→平成20年度より病院再編計画を実施しており職員を3割削減して、経営改善が図られてきているので、今度の見直しにより更なる改善を図る。</li> <li>・赤字続きの病院は廃止すべきだ→救急医療、高齢者、透析患者、子どもの対応もあるので地域医療を守るためスリム化して存続していきたい。</li> <li>・市議会議員の報酬や定数の削減は→現在、議会で検討している。</li> <li>・病院の経常収支比率の目標100.3%は市の支援を入れてか→入れて。</li> <li>・市民から見ると病院支援に多くの税金が入っているように見える→国から地方交付税として入る分と市から出している分がある。</li> <li>・病院が赤字になっているのに有効手段を取らなかったのか→病院は年間6億円の赤字があり、その内3億円が国から入り、残り3億円を職員削減等で対応する。</li> <li>・病院の資金不足比率が悪いのはなぜか→収入に対して不良債務の割合が大きいため。</li> <li>・医師の報酬は高いのでは→全道の市と同レベル。</li> <li>・過疎地域の小学校は統合しては→完全複式になれば、距離や地域性を考慮し統合を進めていきたい。</li> <li>・市は赤字になれば市民に求めるが、市民はどうしたらよいか→早期健全化団体にならないための計画であり、市民の皆さんのご意見を聴いて決定していきたい。</li> <li>・市立病院は診療所にしないのか→救急医療、高齢者の方、透析の方、小児科にかかる子どもがいるので、スリム化して存続していきたい。</li> </ul>
<p>11月13日(木)</p>	<p>進徳生活館</p> 	<p>19人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急の医師対応が不親切である→様々な病院から医師がきており、院長に報告し指導していく。</li> <li>・市税の未納の内訳は→市税が3億円程度、国保税が4億円程度で計8億円程度。</li> <li>・滞納で不公平感があるがその対応は→タイヤロックの導入や、道から専門職員を受入れ収納対策をしており、今後、さらに向上に努める。</li> <li>・給料削減の仕方は→年代を考慮し傾斜配分で考えている。</li> <li>・給料削減でなく、大幅な職員を削減し少数精鋭で実施しては→2割の人に退職してもらっており、補充は最低限で実施している状況。</li> <li>・農道空港の見直しは→国に返還もできず、現状では最低限の維持に努めている。</li> <li>・市職員のOBや市議会のOBにも負担を求めている→制度的に難しい。</li> <li>・生活館の廃止について地元との協議は→生活館を廃止し地元の集会所として自主運営していくことで地元の運営委員会と協議している。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政健全化計画の8年の計画期間は長過ぎる→短期間に大幅な市民への負担を求められないことから8年間とした。</li> <li>・市政モニターや市民ボランティアなど、市民参加の仕組みを→市民と協働のまちづくりが重要であり、検討していきたい。</li> <li>・消防の救急体制は→救急車2台と救急救命士10名で対応している。</li> <li>・少子化の時代に子育て世代に対する負担を増やすべきではない→他市町村より料金が低いものを項目としてあげたが、今後検討する。</li> </ul>
<p>11月14日(金)</p>	<p>西美唄福祉会館</p>  <p>14人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院は廃止しては→1次救急は美唄で行わなければならない。救急医療、透析患者、高齢者、子どもを守るため病院をスリム化して存続していきたい。</li> <li>・税を上げる前に徴収率を上げるべき→職員体制、市のサービス制限を実施しているが、今後は債権の差押さえなど強化していく。</li> <li>・市長公約で婦人科の再開があったが→産科の医師不足で外来は美唄、入院は砂川というサテライト方式になっている。</li> <li>・「食の駅」はどうなったか→現在は、既存施設を活用し市の負担にならないような仕組みで構想をつくっている。食にこだわったまちづくりをしていきたい。</li> <li>・市立病院を老人医療施設にしては→老人医療施設は民間で実施してきており、民間ができることは民間で実施することが望ましい。</li> <li>・職員給料の削減を職員組合に提案しているが実現性は→市民にも負担してもらおう状況で、市職員も対応しなければならないと考えている。</li> <li>・市議会議員の定数を10名ぐらいに削減しては→議会で検討中と聞いている。</li> <li>・学校開放事業の有料化の見直し→実費程度の有料化を考えているが、検討する。</li> <li>・市職員が計画を納得し、行動しなければ結果を出せない。</li> <li>・自立推進計画から4年程度でなぜこのような状況になったのか→国の三位一体の改革で地方交付税が激減され、財政健全化法への対応が必要になったことが要因。</li> <li>・収納率向上の具体策は→財産の差押さえ、インターネット公売など、強制執行を検討していく。</li> <li>・生活保護世帯の状況は→生活保護世帯については一定の要件で認定している。</li> </ul>
	<p>東明西福祉会館</p>  <p>22人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院は廃止したほうがいいのでは→救急医療、透析患者、高齢者、子どもを守るためスリム化した病院で存続していきたい。</li> <li>・市外の病院へ通院するのは交通費もかかり大変。市民の生命を守るために病院の存続を→交通手段のない高齢者もいることから、なんとか病院を存続させたい。</li> <li>・職員給料を削減すると購買力も落ち、まちが衰退するのでは→給料の削減で購買力が落ちるかもしれないが、この難局を乗り越えるには必要である。</li> <li>・砂川の市立病院が中核病院なら、市立病院をもっと縮小しては→1次救急は美唄で行い、より高度な2次救急は砂川でお願いする。</li> </ul>
<p>11月16日(日)</p>	<p>市民会館</p>  <p>125人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の機構改革はどうなっているのか→現在、若手職員を含め庁内プロジェクトで検討中。</li> <li>・自立推進計画を策定してあまり経過をしてないのを見直す理由は→三位一体改革で地方交付税が大幅に削減されたことと健全化法によるもの。</li> <li>・市立病院を存続させるのか→救急医療、透析患者、高齢者、子どもなどの地域医療を守るためスリム化した病院で存続していきたい。</li> <li>・この計画の内容では、市民にとって財政再生団体となっても同じではないか→再生団体になると国の指導により健全化を進めることになり、市の自治権が大きく制限され、市民の皆さんにとってもさらに厳しい状況となる。</li> <li>・「美浦大橋」や「食の駅」の公共事業の状況は→「美浦大橋」は道の事業で実施中。「食の駅」はまちの活性化に必要であり、市の負担にならないような仕組みで、市民の意見も聴きながら進めていきたい。</li> <li>・市長給料の削減率は少ないのではないか→現在も削減をしているが、さらに削減するもの。今後、状況により、再度検討する。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全化計画素案は外部の経営診断などを入れて策定したのか→市が策定。</li> <li>・自立推進計画での環境変化の説明はこうなった原因を外部の所為に行っているのではないのか→今後自立していく上でこのような分析を踏まえた対応が必要であるということ。</li> <li>・協力するものは協力したいが、今回の問題は国に責任がある。市は国にどのような要望をしているのか→国に対し地方交付税の増額や病院への支援を要望しており、今後他の自治体と連携して、要望していく。</li> <li>・健全化に対する市議会の対応や議会独自の説明会の開催をしてほしい→議会に伝えたい。</li> <li>・市立病院の計画で収益が増額になっている根拠は→療養病床の入院増、透析患者の増、外来患者の増などを見込んでいる。</li> <li>・市立病院はH23年で黒字にならなかったらどうなるのか→単年度の赤字を出さない計画。地域医療を守るため、存続していきたい。</li> <li>・削減されても、市職員の給料は民間に比べ多い。</li> <li>・このような状況になった原因の総括は→単年度収支黒字でこれまで努力してきたが、健全化法により、病院の累積不良債務を含めた連結ベースで財政健全化の判断をされることとなったため。</li> <li>・地域医療を守って病院を存続してほしい→自治体病院の役割があると考えているので、地域医療を守るため、様々な検討をしていく。</li> <li>・財政再生団体は絶対に避けなければならない→病院特例債の借入に全力を挙げる。国には利子だけではなく元金に対する支援も要望していく。</li> <li>・市民も協力しなければならないが、社会的弱者の負担は少なくしてほしい→今後とも経費削減に努め、市民負担を極力抑えていきたい。</li> <li>・もっと早い段階で説明し、市民の声を計画に反映してほしい→この説明会のほか、出前講座などでも説明し、多くのご意見を聴きたいと考えている。</li> <li>・説明会に市議会議員の代表も出席し、市とともに市民の意見を聴いては。</li> <li>・市議会議員の定数、報酬の削減を。</li> <li>・H20の病院再編計画の実施状況は→収入は計画どおりだが、支出で原油高騰が影響している状況。</li> <li>・中央駐車場を廃止する理由は→地域の活性化のため、道営住宅を建設する予定。</li> <li>・病院特例債は借りられるのか→全道12自治体が病院特例債を借りる予定であり、協力しあって国に更なる支援を要望していく。</li> <li>・職員給料の削減の方法は→組合と交渉中だが、給料の削減は、若い職員に配慮して行う。</li> <li>・患者数に対して病院の窓口の職員数は多いのではないのか→職員が3名、委託先の職員が5名。業務に見合った、職員配置を検討する。</li> <li>・給料の見直しで、赤平、夕張は30%削減している→夕張、赤平は多数の職員が退職しており、大変な状況。15%が限界と考えている。</li> <li>・市長と副市長、教育長は同じ削減率にしないのか→様々な考え方はあるが報酬審議会などで決定される。</li> <li>・あまりお金が落ちない道の駅構想は止めるべき→お金を落とす施設を考えているが、市の負担にならないような仕組みで市民の意見も聴きながら進めていきたい。</li> <li>・母子・父子家庭等支援事業の廃止は見直しを→ご意見として重く受け止める。</li> <li>・現実的に市立病院は、診療所に縮小しては→市民の地域医療を守るため、スリム化して存続したいと考えているが、今後、診療所や民営化など選択肢として検討していきたい。</li> <li>・専大の助成金削減は理解できない→留学生支援を含めて助成してきたが、留学生数が今後あまり増えない見込みであり、助成額については専大と協議している。</li> <li>・奨学金貸付事業の廃止は止めてほしい→社協で同様な制度があるので廃止項目とした。</li> </ul>
--	--	---

	<p style="text-align: center;">我路生活館</p> 	<p style="text-align: center;">8 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、生活保護世帯の状況は→H19 で 608 世帯、849 人。</li> <li>・生活保護の金額は→国の基準で決まっている。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">11 月 17 日(月)</p>	<p style="text-align: center;">東 4 条福祉会館</p> 	<p style="text-align: center;">31 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院特例債の償還財源は→主に一般会計からの繰入れ。</li> <li>・病院の収入が減額すると市民負担が増えるのか→新たな赤字を出さないようにしていく。</li> <li>・市民と病院との信頼関係の改善が必要→市民に信頼される病院づくりをしていく。</li> <li>・病院特例債を 7 年で償還できるのか→不良債務解消を 5 年から 8 年に延長してもらおうが、他の自治体とともに国に対し、更なる支援を要望していく。</li> <li>・内科の医師を確保し入院できるようにしてほしい→努力していく。</li> <li>・旧産炭地の自治体は連携して地方交付税増額を国に要求すべき→これまで大幅に減額されてきた。今年度少し改善されたもののまだまだ不足であり、今後とも国に要望する。</li> <li>・職員の給料体系は守るべき→市民の負担を最小限にするため、職員の給料削減をお願いしている。</li> <li>・職員が気持ちを一つにして取組んでほしい→職員と話し合いながら、ところを一つにして進めたい。</li> <li>・健全化の中でも市としてやらなければならないものは→財政健全化の中でもまちの活力づくりに経費をかけずに取組んでいきたい。</li> <li>・市の 7 年後の展望は→この状況を乗り越え、自立できるまちにしていきたい。</li> <li>・患者さんにきめ細かく対応するため、看護師を増やしては→現状では看護師は増やせないが、対応については改善していく。</li> <li>・開業医と連携し、市立病院で検査を実施しては→ご意見を参考に地域連携に取組んでいきたい。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">東福祉会館</p> 	<p style="text-align: center;">19 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の負担は夕張と比べどうか→トータルで比較したものはない。今回の市民負担は、近隣と比べ負担額が少ないものを見直した。</li> <li>・人件費以外の経費の削減は→施設の統廃合、事務事業、管理経費などを見直している。</li> <li>・地方交付税の関連で市内に誘致した、専大、自衛隊などの影響は→専大は生徒も減少し、厳しい状況であるが存続に向け要望していく。北海道の自衛隊が削減されており、美唄の駐屯地を守るため全力で頑張る。</li> <li>・市立病院を今、閉鎖したらどうなるのか→閉鎖しても 23 億円の債務は支払わなければならない。地域医療を守るために赤字が出ないように存続していく。</li> <li>・病院は止めて、救急車、救急救命士を増やして対応できないか→救急車 1 台増やすと、9 人必要となり、体制、経費からも難しい。</li> <li>・市民として協力したいが、市民が参加してコスト削減になるボランティア活動はどのようなものがあるのか→今年メロディーで募集した公園の草刈など「美しきまちづくりサポーター制度」があり、参加をお願いしたい。</li> <li>・給料の削減について職員は納得しているのか→職員には厳しいが、組合と協議を進めている。また、機構改革も検討している。</li> <li>・固定資産税の引上げは不公平感のないように→不公平感のない取組みをしていきたい。</li> <li>・給料削減は職員も管理職も同じなのか→若年層に配慮し削減を考えている。</li> <li>・健全化以外の補助金の見直しは→相手と話し合いながら、検討をしていきたい。</li> <li>・なぜ病院職員は退職するのか→様々な理由があるが、スリム化により 3 割の方が退職された。</li> <li>・内科の入院は→医師を確保し再開を目指している。</li> <li>・まだ、職員の人数が多いのでは→10 年間で 32%削減しており、現状は若干多い程度と考えている。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時、嘱託も多くないか→事業で抱えている臨時もいるので、多い場合もある。臨時等も含め職員の適正な配置を検討する。</li> <li>・健全化のためにも職員を削減しては→4年間で113名を削減してきおり、今後とも最低限の人員でやっていきたい。</li> </ul>
<p>11月18日(火)</p>	<p>光珠内福社会館</p>  <p>15人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全化指標で三笠市が良いのはどのような理由か→病院の累積赤字が少ないのが要因。</li> <li>・新しい市民をどう増やすのか→企業誘致でコールセンターの話があり、願をしている。今後とも努力していく。</li> <li>・財政健全化を行う原因は→地方交付税の大幅削減と健全化法によるもの。</li> <li>・医師の確保は→大学病院でも医師がいなく厳しい状況であるが、内科の医師を確保し内科の入院を再開したい。</li> <li>・市民要求はいつ実現できるのか→財政が許すなかで市民要望に応えていきたい。</li> <li>・市の課長補佐は必要なのか→業務、課題等を遂行するのに配置しているが、今後は、組織機構改革を検討していく。</li> <li>・税の未納額はどの程度あるのか→8億円程度。</li> <li>・未納対策はどうするのか→今までの対策のほか、財産の差押えを実施する。</li> <li>・納税強化として民間委託も考えてはどうか→収納対策を強化していき、民間のノウハウを検討していきたい。</li> <li>・生活保護の基準があまいのでは→国の基準で実施している。</li> <li>・施設がなくなると人口が減少する。職安、専大、自衛隊などの対応は→職安は事前に連絡のないまま廃止が決定されたが、市としては継続を要望していく。専大は学生数が減少し、厳しい状況ではあるが存続に向け支援していく。北海道の自衛隊が削減される見込みであり、美唄の駐屯地を守るため国に強く要望していく。</li> <li>・病院の赤字を反省したうえで計画を策定すべき→労災病院との統合を断念し、地域医療を守るため市立病院をスリム化して存続していきたい。</li> <li>・健全化計画で単年度収支の黒字額が少ないのではないかと→市民負担を極力少なくするよう計画したため。</li> <li>・市民が分かりやすい決算報告を→健全化法により、決算の報告義務があり、市民に分かりやすい内容を検討する。</li> <li>・光珠内と峰延小の統合でいくら経費が削減できるのか→年間560万円程度。</li> <li>・小さな学校どうしでの統合で良いのか→小学生は地域で学ぶことが大切でありスクールバスに乗り遠くの学校へ行くのは体力的にも難しいと考えている。</li> <li>・将来の学校統廃合計画は策定しているのか→現在は計画がないので、今後、小中学校の適正配置に関する考え方を明確にしたい。</li> <li>・病院の救急体制は→医師会や民間の病院と連携し、市立病院で実施している。</li> <li>・市議会議員の報酬、定数削減の考えは→市議会で検討中。</li> </ul>
	<p>峰延福社会館</p>  <p>23人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の確保はできるのか→努力していく。</li> <li>・計画に院舎の修繕費が入っていないのでは→一定の修繕費は計画に盛りこんでいる。</li> <li>・病院は計画どおり再建できるのか→新たな赤字が出ないようにスリム化して存続させ、23億円の累積赤字を解消する計画となっている。</li> <li>・市立病院は診療所にしてはどうか→救急医療、透析、小児科などが必要であり、スリム化して存続していきたい。</li> <li>・病院の再建には、職員の意識改革も必要→患者さんに対する医療サービスなど、内部で検討していく。</li> <li>・市立病院が、労災病院の一部を借りて共有で運営できないか→共有は難しい。</li> <li>・医師の歩合制は検討できないか→民間で多いが、公立病院では難しい状況。検討すべき課題である。</li> <li>・病院の施設を民間に貸出せないか→指定管理者制度などだが、民間は赤字になると撤退することもあり、地域医療を守るなら慎重に検討したい。</li> <li>・他の会場でも病院の廃止の意見はあったか→意見はあった。</li> <li>・総合体育館の値上げは→年間のコストや近隣市の状況を勘案して値上げを検討している。</li> <li>・総合体育館については、負担増という発想だけではなく、高齢者向けの健康体操など、利用率の向上を図るべき→こ</li> </ul>

			<p>意見を踏まえ、健康づくりにも取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農道空港の維持管理費はどのくらいか→現在、250万円程度だが、来年度から1/4程度に圧縮するよう検討する。</li> <li>・スクールバス、市民バスは経費削減のために小型化を検討すべき。</li> <li>・市議会議員の報酬を日当制にしてはどうか。</li> <li>・今年から除雪の基準が変わったのか→出動基準を10cmから13cmに変更し除雪回数が減るが、路面整正を充実していく。</li> <li>・美唄市の赤字の原因は→三位一体改革による、地方交付税の大幅な削減による。</li> <li>・砂川の病院は美唄と何が違うのか→砂川は中核病院として高度医療、医師を集中している。</li> <li>・救急体制はどうなっているのか→医師会や民間の病院と連携し、市立病院で実施している。</li> <li>・職員が多いのでは→職員は2割削減しているが、今後は組織機構の改革も検討していく。</li> <li>・納税貯蓄組合を廃止し収納率が変わったか→収納率は変化していない。</li> <li>・「食の駅」はどうなったのか→現在、構想を策定しており、市民の皆さんのご意見を聴いて慎重に進めていく。</li> </ul>
計	7日間	356人	